

うな操作方法になれさせること。

3年生の児童は、まだ、はっきりした根拠を持たないまま、直感で中心文をとらえることが多い。そして、細部の具体的な事

柄を重要なところだととらえやすい。

一文一文をとらえ、それらの比較検討の上で中心文を見出すような方法を指導する必要がある。

(3) 指導計画

時	ね ら い	学 習 活 動・内 容	指 導 上 の 留 意 点
1	「記号とことば」のあらましをとらえさせる。	1. 題名から内容を予想する。 2. どんなことが書いてあるかを考えながら「記号とことば」の全文を読む。 3. どんなことが書いてあったか話し合う。 4. 書かれてあることがらによって3つの意味段落に分ける。 5. 学習のめあてについて話し合い、学習計画を立てる。 6. むずかしい語句や漢字を調べる。	○題名は文章内容に深くかかわっていることに気づかせる。 ○大事だと思うことばに続をひきながら読ませる。 ○各自自由に発表させ、それを整理していく中で3つの意味段落に気づかせる。 ○新出漢字が多いので、事前に調べさせたり、小黒板にかいたりしておく。
2	記号とはどんなものかを読みとらせる。	1. 3つの意味段落を確認する。 2. 第1段落を読んで記号とはどんなものか話し合う。 (1) 3つの形式段落に分ける。 (2) 形式段落ごとに、中心語句をおさえる。 (3) 3つの形式段落のうち大事な段落を考える。 (4) 段落相互の関係を考え、要点と例文の関係であることをとらえる。	○学習の手びきを参考に「記号とはどんなものか」を話題として読み進めさせる。 ●要点とはどんなものかをよくわからせる必要がある。 ●第1・2形式段落のまとめはむずかしいので語句をおさえる。 ●尾括弧であることに注意させる。
3	記号の例として、何についてどう説明しているのか読みとらせる。	1. 第2段落を読んで、記号にはどんなものがあるか調べる。 2. それらの記号はどんな意味を表すか読んでまとめる。 (1) 道路標識の表す意味を読みとり、要点をまとめる。 (2) 算数の記号で表された式の意味をまとめ、記号のよさを考える。 (3) 地図の記号がそれぞれ何を表すかまとめる。	●段落相互の関係から、要点と例文をとらえさせ、それが頭括弧であることに気づかせる。 ○さし絵と結びつけて、ことばとの比較による記号のよさを理解させるようにする。 ○話し合いの際には本文をおさえながら話すようにさせる。 ●段落の中の要点と細部に気づかせる。
4	ことばと比較させながら、記号の特長を読みとらせる。	1. ことばと記号には、それぞれどんな特長があるかまとめる。 (1) ことばはどんなときに使うか。 (2) ことばの長所はどんなところか。 (3) 記号を使うのはどんなときか、またどこがべりか。 (4) 記号を使う上で注意することはどんなことか。	●「ところで」から話題が変わったことに気づかせる。(接続語のはたらき) ●指示語・接続語が4つの文のはじめにあって密接につながっているので関連内容を表現に即して正しく読みとらせたい。 ○ことばとの比較のうえで記号の長所をとらえさせる。
5	要点を確認させると共に、題材に出てきた記号以外についても調べようとする意欲をもたせる。	1. 全文を読み、大事なことをまとめて発表する。 2. ほかにどんな記号があるか、その記号はどんな意味をもっているか発表する。	○記号とは何か、どんなものがあるか、どんな特長があるかなどについてまとめさせる。 ○事前に調べておき、本時は整理・発表することを中心にしておく。
6	獲得した技能、文字、語句の定着をはかる。	1. 技能、文字、語句の練習をする。 (1) この題材でねらった要点をつかむ練習。 (2) 語句の練習をする。 (3) 文字の練習をする。 2. 学習のしかたについて反省する。	●頭括弧・尾括弧のちがいをよくわからせ、練習させる。 ●要点のとらえ方を確認する。